

地域包括ケア病棟を退院する患者の実態と転帰に関する調査

国立精神・神経医療研究センターでは、岡山県精神科医療センターと医療法人学術会 木村病院から、診療情報等の一部の提供を受け、地域包括ケア病棟に退院された方に関する研究を行います。本研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、利用目的等を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。この研究課題に対し診療情報等の提供を受けることにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供して欲しくないことを申し出られても、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

2022年3月31日までの間に、
岡山県精神科医療センター、および木村病院の地域包括ケア病棟から退院された方

2. 試料情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名:岡山県精神科医療センター/医療法人学術会 木村病院
所属・氏名:院長・来住由樹/院長・渡邊博幸

3. 試料情報の提供を受ける研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名:地域包括ケア病棟を退院する患者の実態と転帰に関する調査
研究期間:2023年8月1日~2025年3月31日まで
研究代表者(研究責任者):国立精神・神経医療研究センター 小池純子

4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

情報等:診療録(年齢、性別、診断名、入院状況や地域サービスの利用状況など)
(取得方法)カルテなどの診療記録から入手

5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

本研究の目的は、地域包括ケア病棟の実態を把握することです。本研究の結果は、より質の高い入院ケアに関する制度の検討に使われる予定です。政策やさらなる研究で必要になった場合には、本データを2次利用する予定です。提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。また、この調査は、退院時と退院後1年後にさかのぼって調査を行うので、得た情報が誰のものであるかがわかるようなりリストを作成することはありません。

なお、国立精神・神経医療研究センターにおいて政策への提言やさらなる研究で必要と判断された場合

には、本データを2次利用する予定です。その際は、改めて皆様方にお知らせします。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名 : 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

所属・氏名: 地域精神保健法制度研究部 室長・小池純子

電話番号 : 042-341-2712 (内線 6329)

e-mail: koike※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)